

3類型	農林水産物、鉱工業品	通巻番号	3-24-183
地域資源名	栃木のお米・二条大麦・生乳、日光の水 他	認定日	平成24年10月1日
地域	栃木県日光市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

事業名：栃木県産の原材料を使ったラスク等の新商品開発および販売

会社名：株式会社日昇堂

所在地：栃木県日光市今市1447

連絡先：TEL：0288-21-0533
FAX：0288-22-8033

H P： <http://www.ganso-nisshodo.jp/>

事業概要(新たな活用の視点)

栃木県は、日本屈指の農産物の産地であるが、県の農産物を前面に打ち出して商品化された菓子が少なく、また、伝統的な和菓子が中心の観光みやげ品では、主要顧客は高齢者に限定されてしまう。

そこで、県産の小麦、米粉、ホエー、二条大麦、日光の水を原材料とした新しい食感と風味を追求したオール栃木県産のパンを使うとともに、いちご、トマト等の県内産品でフレーバーを付けた「日光ラスク」の開発および販売を行い、修学旅行生等の若年層や出張のビジネスマン等、新たな顧客の獲得を目指す。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

季節感や日光らしさのある新商品を投入していき、消費者を飽きさせないようにラインナップの新鮮さを追求するとともに、栃木産原材料が使われていることと、代表的観光地である日光のイメージを全面的に打ち出し差別化を図る。

◆市場性

おみやげを購入する顧客の心理として、その土地にしか売っていないもの、その土地でしか食べられないもの、その土地に行ったということがわかるものを購入しようとすることから、栃木県産の原材料をふんだんに使用したラスクに、さらに「日光ラスク」として日光のイメージを打ち出すことで、栃木県を訪問する観光客のニーズを満たすものとなる。

◆販路

県内観光みやげ物店等の卸販売チャネルを活用する。

地域資源における関係事業者との連携

県産原材料の安定供給を確保するため、県内事業者との連携・協力体制を構築。また、県内みやげ品販売店約100社による販売を通じ、県産品を前面に打ち出した地元の新たなみやげ物の確立が期待され、地域産品のピーアールにも寄与する。



【日昇堂 本店】



【試作中のラスク】